

むら いし 村石あつし

富山市議会活動報告



2010年1月1日

No. 3

発行責任者
富山市議会社民党議員会
村石あつし



市議会12月定例会
一般質問(本会議)
2009年12月9日

皆さまへのごあいさつ

私は昨年4月、多くの皆さまのご支援とご協力を賜わり、市議会に送っていただきました。12月定例会では、「いのちとくらしを大切に、活力ある富山市をつくる」という政治信条に基づいて、初めて一般質問(本会議)を行いました。

昨年を振り返ってみますと、5月には新型インフルエンザ対策本部が設置され、国からの正確な情報提供に基づいて、さまざまな対策が講じられました。経済情勢が悪化し、雇用情勢も厳しい状況の中、6月定例会では、雇用・地域経済活性化対策に要する事業などについて、一般会計では過去最大の約50億円の補正が決定されました。補正の中には、公約していました乳幼児医療費助成制度の拡充(入院費については小学校6年生まで無料化)及び老田小学校の改築事業がありました。

県内の10月の有効求人倍率(季節調整値)が、0.51

倍(10人の求職者に対し5人分の求人)で厳しい状況だったこと、今年3月高校卒業予定者の昨年10月末現在の就職内定率が73.4%(前年同期に比べて、8.5ポイント悪化)だったことなどから、今年も引き続き切れ目のない雇用対策を講じなければなりません。

また、少子化対策としては、安心して子どもを産み育て、誰もが教育を受けられるように、子育て世代の支援に取り組みます。お年寄りのみなさまのくらしを支えるために、健康の保持を援助し、安心・安全な医療・介護体制を整備し、利用料については減免するように取り組みます。

皆さまの声に耳をかたむけ、皆さまの代弁者として、「いのちとくらしを大切に、活力ある富山市をつくる」ために、昨年の活動経験を活かし、本年も誠心誠意努力する所存です。市民の皆さま、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【市議会12月定例会 村石あつし一般質問(本会議)】

質問項目 (12月9日 一般質問)

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1 緊急雇用対策の推進と継続について(2頁) | 4 救急医療体制の周知について |
| 2 生活支援のワンストップ・サービスについて(2頁) | 5 新らしい富山市立図書館について |
| 3 並行在来線の新駅設置について(3頁) | 6 選果施設再整備による呉羽梨産地活性化について(4頁) |

【質問内容・データなどは、昨年12月9日時点のものです】

緊急雇用対策の推進と継続について

県内の10月の有効求人倍率が、0.51倍で求職する人数の半分しか求人数がなく、厳しい状況であること。また、平成22年3月高校卒業予定者の10月末現在の就職内定率が、73.4%と前年同期に比べて、8.5ポイント悪化していることなどから、私は、緊急雇用対策の推進と継続について一般質問しました。

問 ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業の進捗率を100%以上とすることが必要と考えるがどうか。

答 両事業の本年10月末現在の進捗状況は、雇用創出見込数350人に対し、306人の雇用があり、進捗率は87.4%でした。11月末現在では両事業合わせて雇用創出見込数370人に対し、345人の雇用があり、進捗率は93.2%となっている。今後、早期の雇用創出

に努めてまいりたい。

問 両事業の雇用創出見込数は、平成21年度から23年度まで3カ年で775人としているが、できるだけ早く雇用(例えば2カ年)すること(前倒し執行)ができないか。

答 前倒し執行については、平成22年度以降に事業開始を予定していた事業の開始時期を早めるなど、今後はできる事業から前倒し執行をしていきたい。

問 休業等の賃金補填である市独自の中小企業緊急雇用安定支援(21年度)については、22年度においても継続して行うべきであると考えているがどうか。

答 今後の景気の状態や、雇用情勢、富山労働局への休業等実施計画届の受理状況等を見ながら検討していきたい。

ふるさと雇用再生特別交付金事業の一部	緊急雇用創出事業の一部
<ul style="list-style-type: none"> 地域みまもり事業 11人 街なか観光推進事業 3人 呉羽山丘陵里山再生事業 8人 ファミリーパークPR事業 3人 	<ul style="list-style-type: none"> 全庁型地図情報システム整備事業 28人 放置自転車整理事業 10人 道路反射鏡台帳作成業務 25人 小竹貝塚出土品整理業務 28人

※全体では58事業、委託事業=38事業(65.5%)、直接雇用事業=20事業(34.5%) (平成21年11月30日現在)

生活支援のワンストップ・サービスについて

総務省が11月27日発表した今年10月の完全失業率は5.1%。完全失業者数は12カ月連続して前年同月を上回り344万人。6月から12月に失業給付が切れる人が推定93万人に上るとありました。私は、雇用情勢の改善や生活支援対策・貧困対策が緊急の課題となっていることから、実効あるワンストップ・サービスの実施を求めました。

問 政府の緊急雇用対策では、ハローワーク管内の自治体に対し、住宅手当、生活保護の相談職員を派遣、また、社会福祉協議会に対し、つなぎ資金等貸付の相談職員の派遣を要請している。富山市としても、定期開催を検討してみてもどうか。

答 国では11月30日、215の市町村が参加して、試行実施が行われたところである。この試行結果の

北日本新聞 2009年12月10日

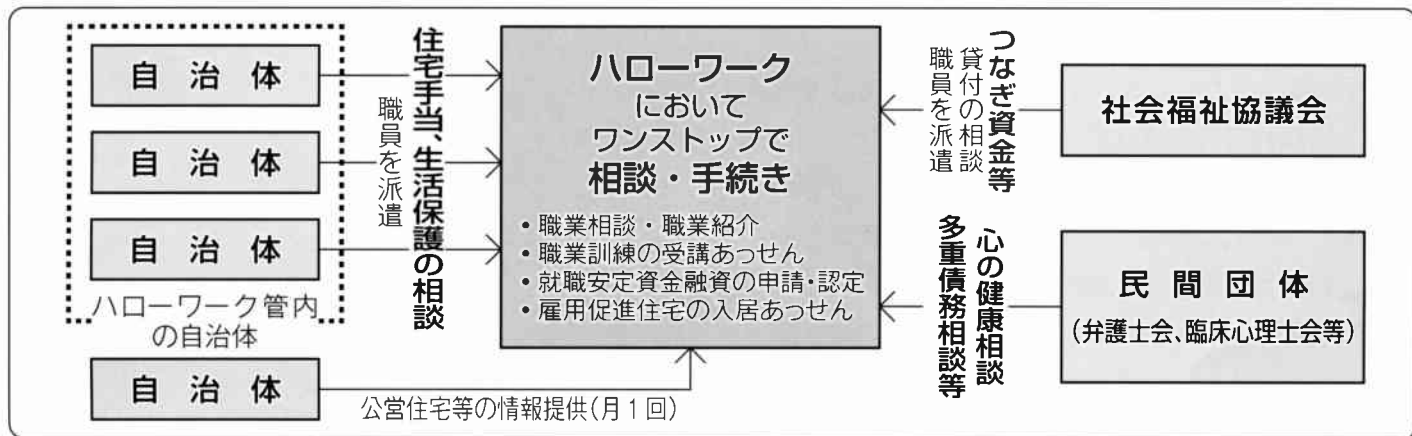
村石 篤氏 (社民)



村石氏 — 企業誘致による新たな雇用創出の見込みは、
 坂井商工労働部長 平成21年度～23年度の3年間で23社の新増設の予定があり、約800人の雇用がある。
 — 呉羽梨の選果施設の再整備の財政支援の予定は、
 藤井農水部長 活用予定の国の交付金が、事業仕分けで2分の1から3分の1へ削減が示された。採択されるよう農協などと働き掛ける。

アンケート結果では、80%以上の方が「ワンストップ・サービス・デイ」は「メリットが感じられた」、また、「今後も1カ月に1回程度、開催するべき」との回答があったと聞いている。本市としては、今後とも、国の動向を注視するとともに、県や社会福祉協議会、ハローワーク等の関係団体と調整を図りながら、適切に対応する。

【ハローワークにおけるワンストップ・サービス・デイの実施】



並行在来線の新駅設置について

私の公約である呉羽駅と小杉駅の間の新駅設置については、富山県並行在来線対策協議会において、平成22年4月から「運行計画、運賃、収支、新駅設置などの経営計画の内容について」検討を行うとの情報を得たことから、新駅設置の基本的な考え方や新駅周辺の計画的な整備などについて質問しました。

問 森市長は、国際大学附属高校の新聞部のインタビューに、「北陸新幹線開通時に並行在来線が第三セクター化されると、学校の近くに新駅設置ができると思います」と答えているが、その考えは、今も変わっていないか。

答 願海寺地区周辺の新駅については、条件が整えば設置の可能性があるものと考えている。しかし、新駅設置を議論する前に、並行在来線の経営形態や何キロ経営(経営区間)などの基本的な議論が大事であると考えている。並行在来線の運営については、富山県並行在来線対策協議会で議論されるべきであり、新駅設置についても、まず、県が責任を持って検討を進められるものと考えている。

問 老田地区での新駅周辺において、鉄道駅周辺型

地区計画による、計画的な整備を行う地区に指定することは可能であるか。

答 富山都市マスタープランでは、

市街化調整区域内の鉄道駅周辺においても、生活利便施設や住宅等の整備を図り、利便性の高い良好な住宅市街地の形成を図るとしている。なお、農地を開発する場合には、地区計画を定めようとする前に、農業を振興する地域からの除外や農地転用について実現(性)があることが条件となるので、あらかじめ県や国との十分な協議が整わなければならないものである。

富山新聞 2009年12月10日

村石 篤氏 (社民)



— 並行在来線の新駅を願海寺付近に設置する考えはないか。
 企業誘致など3年で800人雇用
 森市長 条件が整えば、最有力だと思ふ。県は新駅設置が市町村の仕事という姿勢だが、並行在来線の経営形態をはっきりさせるのが3年間で、23社が新増設を予定し、約800人の雇用がある。
 坂井商工労働部長 県に出された書類などで

先だ。経営形態以外にも、複線の北陸線を横断する駅を造るのは大きな作業になり、課題は多い。
 — 企業誘致などによる雇用創出見込みを示せ。

選果施設再整備について

呉羽梨の選果は、二つの選果場で行われていますが、選果機の老朽化が進んでいることから、選果場を統合し、機能の向上した選果機を設置する選果施設の再整備事業が、平成23年度の選果に間に合うように計画されています。私は、その財政支援について質問しました。

問 再整備事業の財政支援は、どのような予定になっているか。

答 再整備にあたっては、国の「強い農業づくり交付金」を活用し、国、県、市などの財政支援により、新たな選果施設(選果機)の導入を図ることとされている。なお、この交付金は、国の行政刷新会議の事業仕分けの対象となり、2分の1から3分の1の予算縮減が示されているが、市としては、事業採択されるよう引き続き事業主体である農業協同組合や受益農家とともに、国、県、に強く働きかける。

▼外観の色合いの区分は、人の目で行っているが、果実の光センサーが導入されると、バラツキを是正することが可能となる。

富山新聞 2009年9月10日

品質や大き別に仕分けされる呉羽ナシ
富山市吉作のなほな農協呉羽梨選果場



ナシくん

村石のこれまでの主な活動報告

- 10月9日 富山広域圏事務組合事前説明会
- 10月13日 議会報編集委員会
- 10月23日 富山広域圏事務組合定例会
- 10月26日 議会報編集委員会視察
- 11月9日 企業会計決算特別委員会
- 11月10日 企業会計決算特別委員会
- 11月26日 議員協議会
- 11月30日 都市計画審議会
- 12月3日 本会議 (提案理由説明ほか)
- 12月4日 議案調査日
- 12月7日 議案調査日
- 12月8日 本会議 (一般質問)
- 12月9日 本会議 (一般質問)
- 12月10日 議案調査日
- 12月11日 本会議 (一般質問)
- 12月14日 常任委員会 (経済教育)
- 12月15日 常任委員会 (厚生)
- 12月16日 常任委員会 (経済教育)
- 12月17日 常任委員会 (厚生)
- 12月18日 本会議 (委員長報告・質疑・討論・採決ほか)

村石のこれからの主な活動予定

- 1月12日 議会報編集委員会

12月定例会で可決された主な議案

【予算案件】

- ◇平成21年度富山市一般会計補正予算
補正額 9億169万円
- ◇平成21年度富山市特別会計補正予算(8会計)
補正額 979万1千円
- ◇平成21年度富山市企業会計補正予算(3会計)
補正額 1,310万4千円

【条例案件】

- ◇富山市コミュニティバス条例の制定
 - ・市民の日常生活に必要な交通手段を確保するため、富山市コミュニティバスを設置する。

皆さまの市政に対するご意見をお聞かせ下さい。

- 富山市議会社会民主党連絡先 〒930-8510
富山市新桜町7-38 電話(076)443-2153
- 自宅 〒930-0161 富山市東老田642
電話・FAX(076)436-5413
- メールアドレス kb4tj2@bma.biglobe.ne.jp

